

14. マルメロ

・殺菌剤

FRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
M1	I C ボルドー4 1 2	散布	-	-	
M1*	キノンドー水和剤 8 0	散布	収穫 14 日前まで	4 回以内	
3	スコア顆粒水和剤	散布	収穫 7 日前まで	3 回以内	
M5	ダコニール 1 0 0 0	散布	収穫 30 日前まで	4 回以内	
3	トリフミン水和剤	散布	収穫 14 日前まで	3 回以内	

・殺菌剤（参考農薬）

FRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
1	トップジンMペースト	塗布	剪定整枝時、病患部 削り取り直後、及び 病枝切除後	3 回以内	

・殺虫剤

IRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
3	アディオフロアブル	散布	収穫 14 日前まで	2 回以内	
1	サイアノックス水和剤	散布	収穫 45 日前まで	2 回以内	

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決めているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける（「薬剤抵抗性管理」参照）。

品種や気象条件により収穫時期が異なるので、薬剤の使用時期（収穫前日数）に注意する。
農薬の使用回数は、前年の収穫後から本年の収穫までの期間の使用回数であるので注意する。

病 害 虫 名	防 除 時 期	防 除 方 法
ごま色斑点病	全 期 間 (特に開花期間中)	1. 病原菌は被害落葉上で越冬し、翌年の第一次伝染源となる。発生園では被害落葉を集め、焼却するか埋却する。 2. I C ボ ル ド ー 4 1 2 の 30 倍液、ダコニール 1000 の 1,000 倍液、キノンドー水和剤 80 の 1,200 倍液、スコア顆粒水和剤 2,000 倍液のいずれかを散布する。
腐 ら ん 病	全 期 間	1. 発生を認めたときは被害枝を剪除するか、病患部を完全に削り取る。削りかすなど被害残渣は焼却するか埋却する。傷口にはトップジンMペースト [参考農薬] を塗布する。
赤 星 病	開 花 期	1. トリフミン水和剤 2,000 倍液を散布する。 2. 赤星病は中間宿主としてビャクシン類を経過するので、ビャクシン類を伐採する。
黒 点 病	6 月 ～ 8 月	1. 袋掛けを遅れないように実施する。
シンクイムシ類	4 月 ～ 9 月	1. サイアノックス水和剤 1,000 倍、アディオフロアブル 1,500 倍液のいずれかを散布する。 2. 袋掛けを併用する。 3. アディオンは蚕毒及び魚毒に特に注意する（特別指導事項参照）。